

パソコンでお互いに作ったリズムの確認や合成をする

単元名「リズムアンサンブル」(6年)
守口市立三郷小学校

ICT 活用のポイント

- タブレットパソコンを使い、個人が作ったリズムをグループで共有し、楽譜を見ながらお互いのリズムを確認したり、音の重なりに目を向けリズムを打つことができる。

学習の流れ



①前時に作ったリズムでリズムリレーをする。(うまくできなかった児童のために、グループで作ったリズムも掲示して示しておく。)

②グループでタブレットパソコンの協同学習支援ソフトを開け、自分のリズムを楽譜に表す。

電子黒板を使って、ワークシートの使い方、リズム譜の作り方を説明する。



③メンバーのリズムを見て、リズム打ちをしながら確認する。それぞれ作ったリズムを同時に重ねて打ってみる。同じリズムのところや、重なりを考えてリズムを変えたいところは変える。

④発表する。タブレットパソコンで発表グループのリズムを確認し、他のグループもパートに分かれて打つ。



⑤まとめをする。

使用する機器・教材等

タブレットパソコン、電子黒板